

**地域マイスター養成講座・由利本荘キャンパス【定員20名程度】**

会場：由利本荘市文化交流館「カダーレ」 〒015-0076 由利本荘市東町15番地

地域の魅力を掘り起こし、それを伝える講座を自ら企画・運営することができる地域の指導者（マイスター）を養成する講座です。

1	6月28日 (金)	【講話・演習】地域活動のために必要なこと	秋田大学教育文化学部 准教授 原 義彦 氏
2			
3	7月 5日 (金)	【活動事例から学ぶ】地域のさまざまな活動から	中央教育事務所 社会教育主事 鈴木智王 氏
4		【講座修了者から学ぶ】マイスター講座の体験、そして今	NPO 秋田千秋はずの会 代表 鈴木美保子 氏
5	7月19日 (金)	【講話・演習】みんなでつくろう 地域が息づく道具箱	NPO法人 あきたNPOコアセンター 理事長 小西知子 氏
6			
7	8月 2日 (金)	【講座企画】講座を企画しましょう①	生涯学習センター 社会教育主事
8			
9	9月13日 (金)	【講座企画】講座を企画しましょう②	
10		【講座開催準備】講座の準備をしましょう①	
11	受講者が 期日を 決める 4コマ	【講座開催準備】講座の準備をしましょう②	
12		【講座開催準備】最終打ち合わせ	
13		【講座開催】講座を運営しましょう	
14		【振り返りと今後の展望】“次”に生かせることは？	

この講座は「ひとつづくり」「ネットワークづくり」をキーワードに、講座の企画から運営方法までを学び、実際に講座を開催する地域の指導者（マイスター）を養成することで、全県域で行動と学びの輪が自立的に広がることをめざしたものです。

受講者が「講座を開催するまで」と、受講者が「実際に開催した講座の内容」について報告します。

**【講座を開催するまで】**

1日目は秋田大学の原義彦准教授が講師となり、「地域活動のために必要なこと」と題して講話と演習がおこなわれました。講話では秋田県や由利本荘市を象徴する花や木などに触れながら、地域づくりのために地域を知ること、学んだことを生かすことの大切さについて説明がありました。午後の演習では、受講者同士で由利本荘市の魅力について話し合いました。

2日目の午前中は中央教育事務所の鈴木智王社会教育主事が地域のさまざまな活動を紹介しました。午後からはNPO・あきた千秋はずの会の鈴木美保子代表がマイスター修了者としての経験を交えながら、現在の活動グループ設立についての経緯を話されました。また活動に際して、さまざまな団体の協力を仰いだというエピソードも紹介されました。

3日目はNPO法人・あきたNPOコアセンターの小西知子理事長が講師となり、同法人の活動内容を紹介しながら、「受講者が企画した講座の開催は、よってどのような効果を期待しているのか」といった、講座企画の方法論についてさまざまな視点から説明されました。

受講者は今後自分たちで企画する講座をどのように準備・運営していくのか、真剣に考えていました。



由利本荘市の魅力について話し合う受講者



マイスター修了者としての経験を生かして説明する  
鈴木氏

### 【実際に開催した講座の内容】

由利本荘・地域マイスターによる自主企画講座が10月22日（火）、「大人の登校日～今日だけ小学生～」と題して由利本荘市で行われ、授業や給食体験、工場見学に30代から80代までの28人の方々が参加しました。

午前中の会場である旧鮎川小学校では、小学校3年生の国語の授業が行われ「三年とうげ」を題材に、由利本荘市教育委員会学校教育課の高野睦主席参事が先生役となり、生徒役となった参加者は元気に発表していました。給食は地元の本荘ハムフライなどを取り入れた献立で、グループを作って仲良く食べている様子が印象的でした。

午後の工場見学では本荘クリーンセンター、マルイチしょうゆ・みそ醸造元、齋彌酒造店を見学し、普段は入ることができない場所での見学を楽しみました。

参加者からは「鮎川小学校での授業が最高に楽しかったです」「小学生時代に戻って楽しむことができました」といった感想が寄せられました。また、講座の様子は新聞やテレビでも取り上げられ、たいへん好評でした。



国語の授業風景



「由利正宗」醸造元の齋彌酒造店を見学